

大洗町誕生30周年 大洗フェリー就航 大洗鹿島線 開通

記念特集

大洗町民憲章

わたしたちは

この海をひろぎ

原子の火を育て

水と緑を愛する

健康で明るい大洗の町民です。

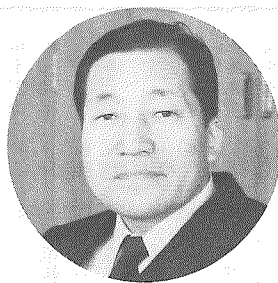
- 一、めくまれた自然をまもり美しいまちにしましょう。
- 一、教養を深め文化の高いまちにしましょう。
- 一、仕事にはげみ活力のある豊かなまちにしましょう。
- 一、きまわりを守り住みよいまちにしましょう。
- 一、思いやりの心で楽しいまちにしましょう。

写真提供 大洗美術館

〈町の花 つつじ・町の木 松・町の鳥 かもめ〉

30周年は 新たな幕明けの年

大洗町長 竹内 宏



大洗町誕生30周年記念式典をここに迎え、一言ご挨拶を申し上げます。

茫洋とした太平洋に接し、豊かで美しい天守の景観に恵まれ、夙に、観光地として高い知名度をもつ私達のふるさととは、戦後の町村合併促進法に基づき、昭和29年11月旧磯浜町と旧大貫町が合併、引き続き翌30年7月鹿島郡旭村の一部(旧夏海村)との編入合併により、現町域をもつ大洗町として新たに誕生をみたのであります。

爾来、30年の星霜の中で多くの先達が幾多の困難を乗り越え、町政近代化のための諸事業と取り組むこれを完遂し、確固たる基礎を築かれ、今日の隆盛期を迎えるに至ったのであります。

町制施行30周年のこの年、町民永年の宿願であり待望久しかった大洗港も、愈々、フェリー基地として北海道との航路が開かれ、3



祝 大洗町誕生30周年記念式典

月16日の第1便の出航をもってその機能を開始し、北関東の海の玄関口として首都圏域の経済発展に大きく寄与することとなりました。また他方では、大洗鹿島線の全線が開通しこれも3月14日には営業が開始され、当町への観光客の輸送をはじめ、通勤通学等に大きな利便を提供することとなりました。ことは、二重三重の喜びであり町民の皆様と共にこの慶祝を分かち合いたいと存する次第であります。

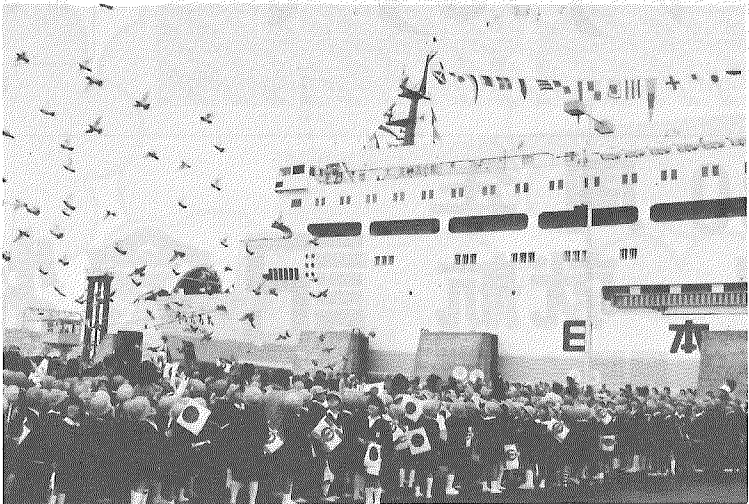
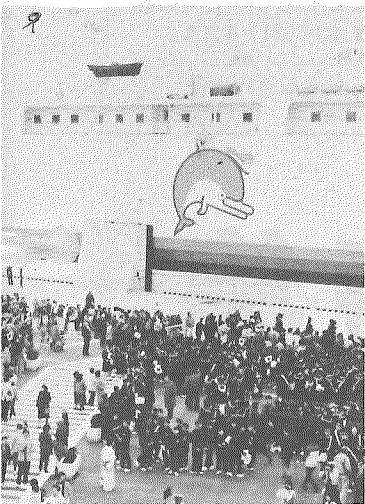
また、この様に当町を拠点として海・陸の両面で画期的ともいえる二大交通輸送体系が確立された30周年の節目の年は、今後、これに伴う関連諸施設等の整備充実の過程のなかで、大きく変貌するであろう当町にとっては、まさに新たな幕明けの年として意義づけられるものでもあります。

ここに多くの先人が果されてこられた御苦労に対し、衷心より敬意を表し、感謝申し上げます。更に、その意志を引き継ぎ、更に一層、町勢発展のために努力することをお誓い申し上げます。

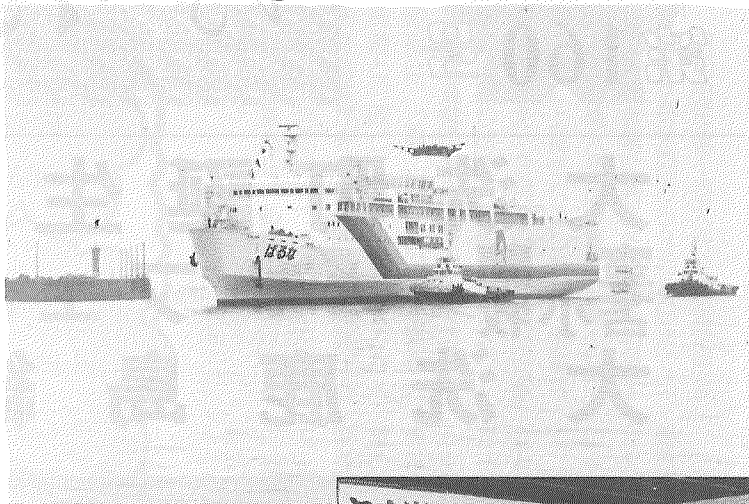
町民の皆様には尚一段のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。ごあいさついたします。

記念・大洗鹿島線開通記念

写真集



▲「さっぽろ丸」

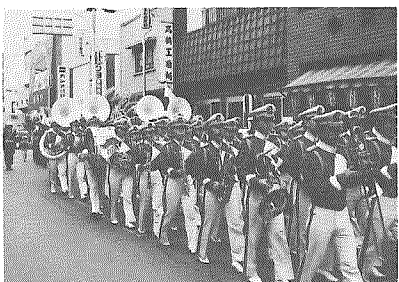


▲大型フェリーの入港



▼磯節ざらおどり

▼大洗高マーチングバンドによる町内パレード



▲保存会による磯節



▲就航記念式典



◀おまつり広場の賑い



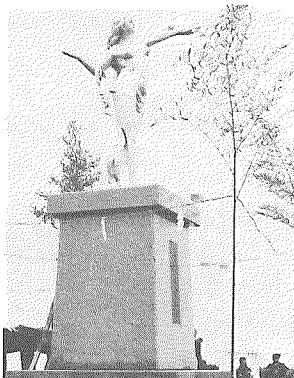
◀船内を見学する町民



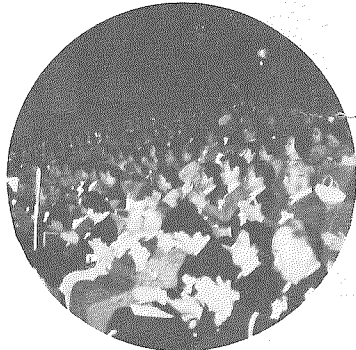
◀見学を待つ人々

大洗町誕生30周年

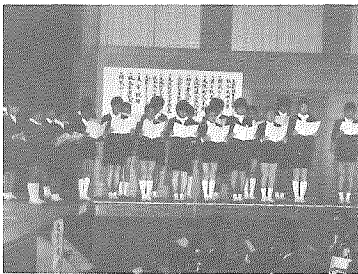
▼記念式典



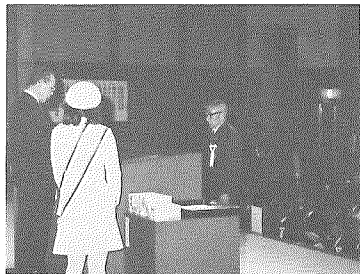
◀港の象徴「平和の女神」像



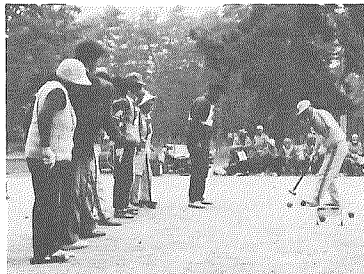
▲会場うめる招待者



▲町民憲章を朗読する磯小児童



▲表彰風景



▲記念大会出場のお年寄り

昭和46年	昭和45年	昭和44年	昭和43年	昭和42年	昭和41年	昭和40年	昭和39年	昭和38年	昭和37年	昭和36年	昭和35年	昭和34年	昭和33年	昭和32年	昭和31年	昭和30年	昭和29年
11月	11月	11月	5月	3月	11月	10月	8月	4月	3月	11月	10月	10月	12月	7月	2月	2月	11月
町営冷凍冷蔵庫完成	大洗町第一回老人体育祭開催される	大洗町役場庁舎完成	大洗町第一回老人体育祭開催される	大洗町第一回老人体育祭開催される	大洗町第一回老人体育祭開催される	大洗町第一回老人体育祭開催される	大洗町第一回老人体育祭開催される	大洗町第一回老人体育祭開催される	大洗町第一回老人体育祭開催される	大洗町第一回老人体育祭開催される	大洗町第一回老人体育祭開催される	大洗町第一回老人体育祭開催される	大洗町第一回老人体育祭開催される	大洗町第一回老人体育祭開催される	大洗町第一回老人体育祭開催される	大洗町第一回老人体育祭開催される	大洗町第一回老人体育祭開催される

大洗町30年のあゆみ

大洗町誕生30周年・フェリー就航記



▲ フェリー埠頭を望む



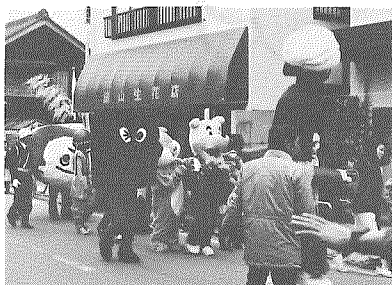
▲ 歡迎風景



▲「ばるな」



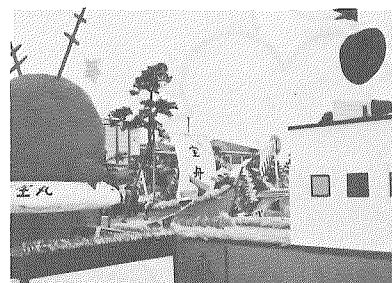
▲ 出航風景



▲ 縫いぐるみパレード



▼ 荒磯太鼓による歓迎

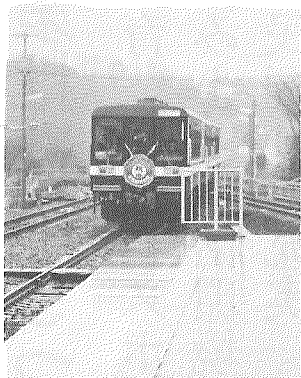


▲ 廣告車



▲
大洗荒磯会

大洗鹿島線開通



▲ 大洗駅に入る記念列車



▲ 開通式テープカット



▼大洗駅舎



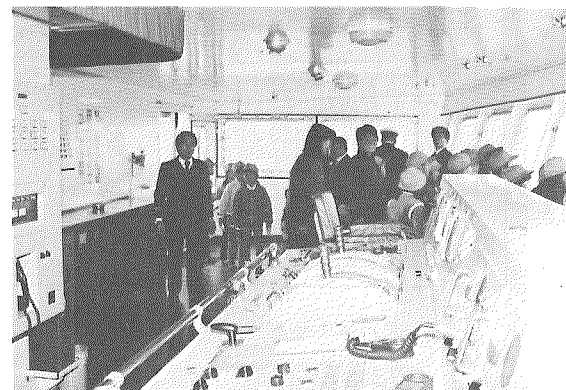
▲ 地権者による試乗



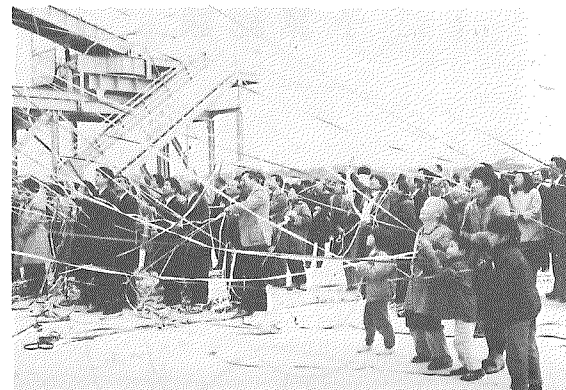
▲ 駅長に花束を贈る大貫小の児童



▲ 駅前に建つ「今日わ」像



▶ブリッチを見学する児童

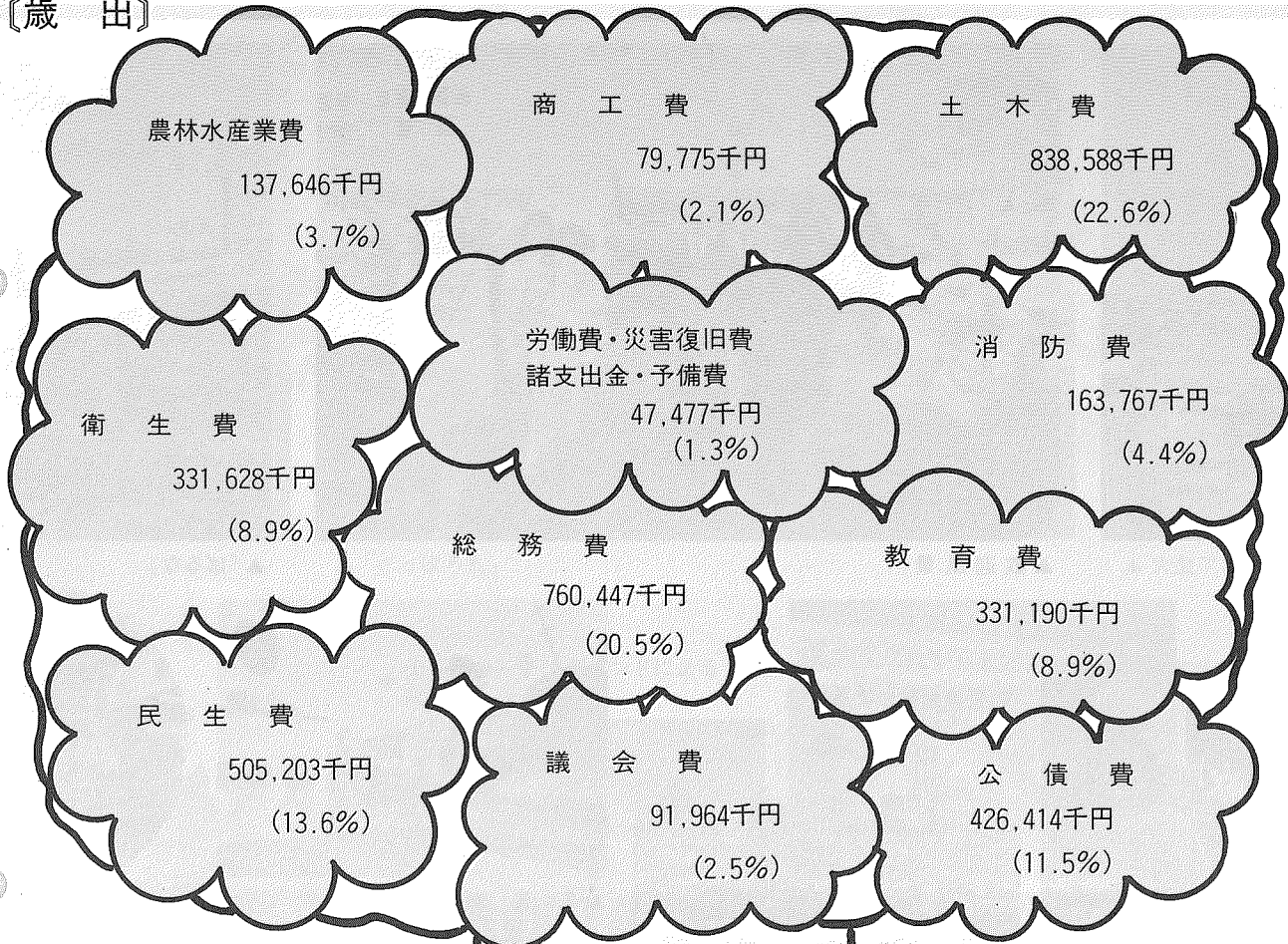


▶見送り風景

昭和47年	2月	日本燃料開発株式会社誘致
昭和48年	4月	大貫バイパス開通
	1月	町営墓地(稻荷山)完成
昭和49年	8月	老人憩の家完成
	4月	茨城県立大洗高等学校創立
	9月	皇太子・妃両殿下御啓
昭和50年	11月	町長選挙執行 加藤清氏当選(第六期)
	7月	生活改善実施(葬儀の簡素化)
	10月	議会議員一般選挙執行
昭和51年	11月	第一回大洗町芸術文化祭開催される
	3月	大洗町保健センター完成
昭和52年	3月	大洗町農業会館完成
	4月	大洗町消防署発足
	4月	高速増殖炉「常陽」臨界に達する
	6月	第一回町民挙げての大掃除を実施
昭和53年	1月	町営墓地(鯨口)完成
	3月	消防庁舎完成
昭和54年	11月	町長選挙執行 竹内宏氏当選(第一期)
	3月	海門橋無料化
	4月	老人憩の家無料化
	5月	大洗港重要港湾に指定される
	7月	大洗町サイクリングターミナル完成
	10月	議会議員一般選挙執行
昭和55年	11月	町営新火葬場完成
	3月	役場昼休み業務の開始
	3月	第一回磯節全国大会開かれる
	3月	
	4月	水戸警察署大洗警察官幹部派出所庁舎完成
	7月	町営プールオープン(50m競泳プール)
	9月	福祉バス運行開始
	10月	大洗町25周年記念町民運動会開かれる
昭和56年	7月	大洗子供の国水族館新館完成
昭和57年	6月	大洗町名誉町民(郡祐一・小幡五朗・加藤清・三氏に称号贈る
	6月	大洗文化センター完成(町民会館・漁村センター・中央公民館)
	7月	磯浜・大貫海水浴場新浜へ移設
	9月	週報「おおらい」発行開始
	11月	町長選挙執行 竹内宏氏当選(第二期)
昭和58年	11月	大洗郵便局新局舎完成
	2月	第一回町民マラソン大会開かれる
	5月	図書室オープン(中央公民館内)
	10月	大洗・旭・常澄環境衛生組合新し尿処理場完成(処理能力8kl/日)
昭和59年	10月	議会議員一般選挙執行
	3月	大洗町営テニスコート完成
	6月	フェリー航路決定(大洗・北海道)
	8月	ポート大洗・サマーフェスティバル開催される
	12月	大洗町民憲章、町の花・木・鳥制定
昭和60年	3月	大洗町誕生30周年記念式典開催
	3月	大洗鹿島線開通
	3月	大洗フェリー就航

昭和60年度 大洗町歳入歳出予算決まる

〔歳 出〕



昭和60年第1回大洗町議会定例会が去る2月25日から3月8日までの12日間を会期に開催され、昭和60年度大洗町歳入歳出予算は、第1日の本会議に上提されましたが、慎重な審議のうえ、3月8日の最終日に原案のとおり可決決定されました。

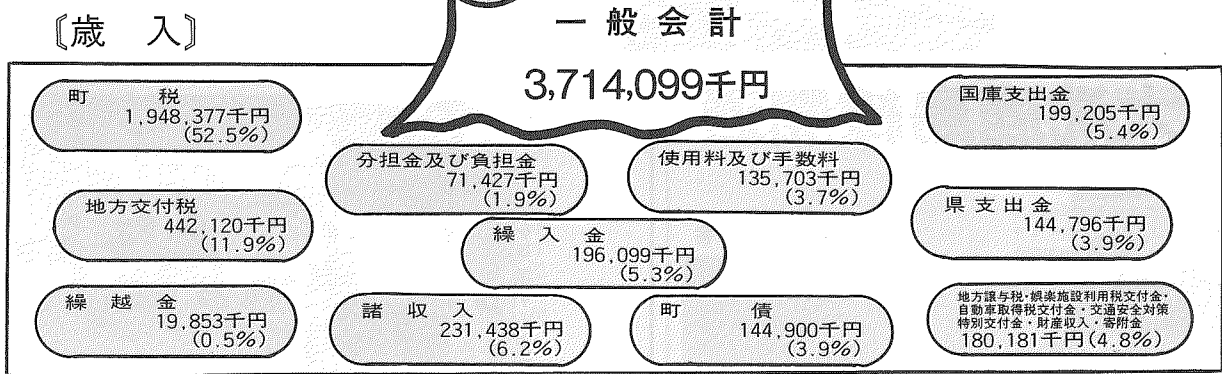
町政運営の基本方針の中で竹内宏町長は、「着工以来、24年を経た大洗港と、同じく14年の経過をみた大洗鹿島線がそれぞれ開港・開通する本年は、当町にとってまさに交通革命による新しい時代の幕明けの年となった。」

この二大事業によって、新しい都市との交流等により経済の活性化が大きく期待されるが、いかに多くのメリットを上げるかの観点にたつて、新しい町づくりを進めていくことが必要であり、それをふまえるから、○教育文化スポーツの充実、○主みよい生活環境の整備、○町民福祉の充実、○経済基盤の整備と産業の振興、○行財政の健全化、を施策推進のための柱として、豊かな海浜文化都市の建設という町政の理念に向けて最大限の努力を傾けていきたい。旨の施政の方針を示しました。

施策推進の5つの柱

- 教育、文化、スポーツの充実
- 住みよい生活環境の整備
- 町民福祉の充実
- 経済基盤の整備と産業の振興
- 行財政の健全化

〔歳 入〕

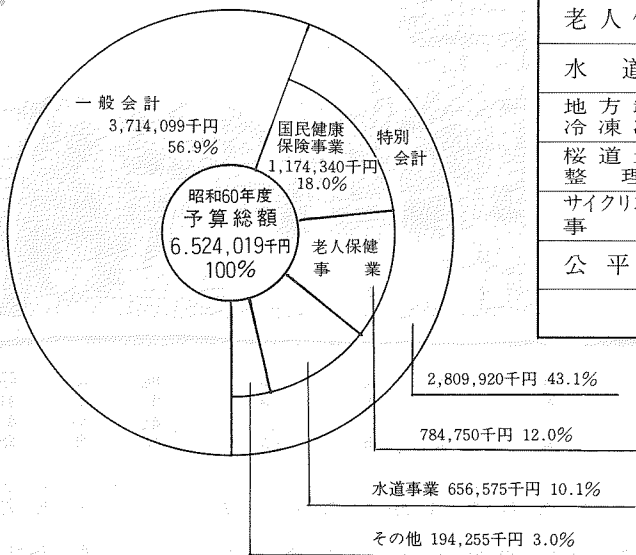


特別会計

(単位:千円)

会計別	昭和60年度	昭和59年度	比較	伸率
国民健康保険事業	1,174,340	1,187,360	△13,020	△1.1
老人保健事業	784,750	806,956	△22,206	△2.8
水道事業	656,575	423,170	233,405	55.2
地方卸売市場 地冷蔵冷蔵事業	60,643	64,405	△3,762	△5.8
桜道土地地区画 整理事業	109,027	136,359	△27,332	△20.0
サイクリングターミナル 事業	19,011	17,410	1,601	9.2
公平委員会	5,574	5,374	200	3.7
計	2,809,920	2,641,034	168,886	6.4

昭和60年度 予算総額



主な事業予算

- 小中学校諸施設整備 二八、四七八千円
- 町道の整備 一五二、七八八千円
- 交通安全施設整備 二、九五〇千円
- 桜道土地地区画整理事業 一〇九、〇二七千円
- 仮称(東浜)町営住宅建設事業 六四、〇四五千円
- 上水道整備事業 二七二、七九九千円
- 老人保健事業 五、四八四千円
- 大洗港建設事業負担金 一〇二、〇〇〇千円
- 水田再編対策事業 七、九五〇千円
- 基盤整備事業 五、二八四千円
- 松川漁港局部改良事業 一七、一七一千円
- 商工観光の振興事業 三〇、六〇八千円
- 総合運動公園用地取得 二四二、〇〇〇千円
- 国民健康保険事業への繰出し 三〇、〇〇〇千円
- 老人保健事業会計への繰出し 三九、二七五千円
- 広報無線放送施設設置事業 三一、四八五千円
- 町民会館自主文化事業 四、七四六千円
- 町営墓地造成工事 四、四〇〇千円
- 移動芸術祭巡回公演負担金 二、〇七〇千円

寄附

- 一、金参百萬円也
千葉県富津市小久保二七七九
亡萩島栄子
相続人代表 萩島一郎殿
大洗町老人福祉事業の一部と
して町に寄附されました。
- 一、金貳萬円也
大洗町磯浜町七七番地
黒澤みつ江殿
大洗町交通安全事業費の一部
として町に寄附されました。